



鳥城会の未来を思う

鳥城会会長 吉田政雄



「光陰矢の如し」で鳥城会の9代目会長に就任してから、早くも3年経ちます。1949年生まれの私です、古稀の齢となりました。この機会に、鳥城会の「来し方」、「行く末」

に考えを巡らしてみたい。1873年(明治6年)以来、鳥取中学↓鳥取一中鳥取高女)↓鳥取西高校と校名を変えながら、5万人超の卒業生を送り出してきました。卒業生のうち、

どのような人が東京圏に「上京」し、鳥城会を構成してきたのでしょうか？ 「坂の上の雲」の時代は、松山中学卒業生と同様、国家発展に尽くして軍人・役人で出世するとい

う志を抱いた少数者の上京であったと推量します。戦前には別の志を秘めた人たちが、学者、画家、音楽家、法曹、医者、ジャーナリスト、経営者、アスリート等も輩出しました。工業国家となった戦後成長期の大人数の卒業生は職を求めて上京し、多くはサラリーマンとなりました。この層が現在の鳥城会のアクティブシニア層、いわゆる「団塊世代」です。そして、その後の加入者はポスト戦後派世代と言えましょう。

2008年をピークとして、日本の人口は減少トレンドに入りました。最近の「同窓会報」によると、母校のクラス数は、私の卒業した頃の1学年15クラスから大



株式会社リンガーハット代表取締役会長の米濱和英さん

山根俊明(昭和57年卒)とでしよう。城会のみならず、鳥城会に新鮮な刺激を与えることとでしよう。

幅に減少して、来春は7クラスとなるとのことです。卒業生の絶対数が大きく減り、我が郷土の総理候補の石破茂代議士の著作「日本列島創生論」通りに、Uターン組を含めて地方で自立できる人が増えると、東京圏の構成員で成り立つ「鳥城会」は先細りです。「懐かしさ」を参加の主たる動機とした運営を続けていけば、人数減の影響による組織衰退は必至です。やはり時代に合った運営形態が問われているのではないのでしょうか。

55歳学年当番幹事制は「先人の知恵」とも言える組織維持の優れた仕組みでしたが、新規卒業生が年々漸減していけば絶大な威力も薄れてきます。鳥城会を維持・活性化していくためには、今後はこの仕組みに加え、同窓会の縦の「交流・連携」を重視し、意

識的に若い会員を掘り起こしていく工夫が必要で。世の中はネット社会になり、交通手段が格段に進歩し、「交流・連携」にとつて地域の壁は消失しつつあります。今後は、鳥取、東京、近畿、東海の地区別の同窓会であると共に、希望すればどの地区の同窓会にもオープンに参加して、「交流・連携」が出来る仕組みにするのも一案ではないでしょうか？

発行 鳥城会事務局 03(6267)4550
制作 (有) august design 03(4405)6258

今年度総会は10月6日 講演はリンガーハット会長

平成30年度の鳥城会総会は、10月6日(土)12時半から、例年通りアルカディア市ヶ谷で開催します。

今年度は、昭和37年に鳥取西高を卒業された、株式会社リンガーハット代表取締役会長の米濱和英(よねはま・かずひで)さんに、講演をお願いしました。タイトは「グローバル企業への飛躍に向けて」

やケンタッキーフライドチキンなど、外国の資本が次々と上陸する中で、「ちゃんぽん」の持つ可能性に賭けた米濱さんはチエーン店を積極的に展開し、長い時間をかけて成功を収めました。その間、日本の社会や企業、個人を取り巻く環境は激変しましたが、柔軟な対応で荒波を乗り切ったのです。現在は次の50年に向かう成長戦略として、「グローバル企業への飛躍」を掲げているリンガーハットグループ。多くの示唆に富んだ米濱さんの講演は、鳥城会のみならず、鳥城会に新鮮な刺激を与えることとでしよう。

会員寄稿①

「黒門」をご存知ですか？



中村恭子さん

鳥城会会報への会員寄稿のお話をいただき、私は、「東京で鳥取をさがす」こ



黒門

から館蔵品には、彼の

とにした。まず思い浮かぶのは、「黒門」である。東大の赤門に対しての黒。数度の移築を繰り返して現在の場所―上野・東京国立博物館の正門脇に建つ、元因州池田屋敷の武家門である。上野で観たい美術展が催されると、私は地下鉄千代田線の根津

駅から坂を上る。上野桜木のフランス料理店でランチをとると、目当ての美術館までの途中にそれはある。故郷ゆかりの建造物と知って以来、通ると必ず私は足を止め、そして見上げ、その堂々とした重厚な門の前で胸を張る。加えて、一昨年の鳥城会で、池田家最後のご当主・百合子様のご講演を拝聴したのは記憶に新しいところでもある。

次に思い起こされるのは、鳥城会で配布されたパンフレット―池田藩政時代の御国産から現代の手工芸までを展示した「鳥取の工芸文化」展である。それは、明治大学博物館で催された特別展で、大学創立者の一人が元鳥取藩士・岸本辰雄とのことから館蔵品

故郷・鳥取県の産物・倉吉餅、因州和紙、牛ノ戸焼などが並んでいた。私は、いわゆる民芸風陶器と言われるものが好きになれない。食卓に載せる趣味はないが、牛ノ戸焼は別である。緑釉と黒釉、或いは白釉とを染め分けた陶器は今見てもモダンで、我が家では飯碗を使っている。さらに歩みを進めると、あった、あった、いかに座り心地の良さそうな木製の英国風椅子。これは西高の同級生で地学部でも一緒だったT君のおじい様の作品である。

高校のわずか2年間だけ部活動を共にした仲間達ではあるが、卒業以来、半世紀近く経つというのに、地学部のOB・OG会は今も続いている。高校時代、私はあまり熱心な部員ではなかったけれど、年に数回開かれる東京支部例会には時々顔を出す。行けば皆に会えるからである。鳥取に浸れるからである。そして、もちろん、年に一度の「鳥城会」でも!! 中村恭子(48年卒)

特別寄稿①

生まれ変わる同窓会



小谷文夫さん



鳥取西高全景

皆さんが現役の頃、1学年は何クラスあったでしょう。少子化の波は鳥取西高の同窓会にも押し寄せます。現在、同窓会の事務は学校運営の一環として西高教職員により行われていますが、生徒数の大幅な減少は教職員数の減少をもたらし、同窓会事務局を並行して執行し、執行が次第に困難になつていくのです。

このため、同窓会事務局を校務から分離して新たに「鳥取西高同窓会事務局」を設立する準備作業を進めています。覚えていない方もおられると思いますが、鳥取西高は5万4千人を超える県下最大の同窓生を有します。同窓会事務局の設置を契機として卒業年毎や各地域の同窓会活動を一層活性化して交流を深めたいと思います。また文武併進の下、部活等で全国区の活躍をした現役の生徒達に同窓会が何か貢献できないか、様々な可能性も探ってみました。どうか鳥城会の皆様方のご理解とご支援を頂きますよう、よろしくお願ひ申し上げます。小谷文夫(鳥取西高校同窓会会長・47年卒)

鳥取ブルーに魅了され

特別寄稿②



青と緑の洞窟

中谷英明さん



海は透明度が良く、イヤイってものじゃないです。例えば珊瑚礁の海で獲れた魚の味、それはそれは残念なもの、脂がのってないんです。

鳥取の海と南の海の透明度の違いは何か。鳥取の海水をすくって顕微鏡で見ると数多のプランクトンが漂っています。鳥取の海の色が少し緑がかっているのはこのためです。海中でマアジが口をパクパクさせているのは、このプランクトンを食べているのです。

鳥取ブルー。透明なだけではない、豊かな海の恵みを生み出す海の色を、私たちが呼んでいます。近年、SNSなどで人気上昇中の鳥取の海が綺麗でしかも魚が旨いと絶賛いただくのはこういう訳

です。

鳥取県庁を中塗りタイヤしたり浦富海岸で泳いだり漕いだり海のガイドを始め5年になります。年々リピーターが増え、また今年も暑い夏がやってきます。

写真は一番人気のスポット「青と緑の洞窟」です。城原海岸の菜種島にあり、入口が二つあって島の南側から北側に抜けることができます。その真ん中あたり、真っ暗な所で泳ぎをやめ振り返るとこの二つの入口が視界に入ってきます。

右は緑、左は青に光っています。曇りの日でも濁りの日でも一年中この色。南側は日なた、北側は日陰だからなのでしよう。ちなみに「青と緑の洞窟」は私が著書等で勝手に命名しました。今では遊覧船やガイドの方々にもそう呼んでいたいております。

ここはビーチから泳いで10分ほど。近くには「洞窟スタジオ」「ガンダム洞窟」なども。コンパクトに多彩な地形を楽しめます。

通い始めてかれこ

れ40年以上。ここは鳥取へのUターンの原動力となっただけでなく、さかなクンと出会い、凶鑑を共著するに至っ

た地でもあります。2010年の彼のステージで「かにクン」として登場したのが最初。6月末には久々に鳥取市で共

演、大盛り上がりでありました。中谷英明「かにクン」(鳥取ブルー代表・56年卒)

会員寄稿②

還暦を過ぎてなつかし
恩師の小噺

杉原純さん

鳥取西高を卒業して40有余年、このころは高校の授業時間を思い出すことが何度もあります。私はよそ見と眠気が癖の困った生徒でした。先生が「雑談」を始めるとなぜか目が冴え、集中して聴き入ったものでした。恩師たちはそれぞれ独特の「閑話休題」の手練手管を持ち、駆使しておいででした。とりわけ、国語の授業にめりはりを利かせた古田恵紹先生のお話は味わい深く、あれは匠の技だったと思ひ起こ

すことがしばしばです。

たとえば、五十音の「ba行」の表記は「ha行」が濁ったものとして「ば、び」と書くのは誤りで、「ま行」に濁点を付すべきだ。そんなことを聴かされ、閉じた唇を開いて発音することに留意せよと示唆されました。この話は長く脳裏に引っかかり、時に思い起こしては「馬、美、無、武、米、亡、望、木」などと「ま行」とば行で読む文字を、は行で読むことではない例証を自分でも集めたものでした。

大学を出た後は新宿区に勤め、先年、定年退職しましたが、その後も区の人材育成センターの専任講師として後進の指導に携わって

ます。退役将校が兵学校の校長を任せられたようなものですが、自分が先生稼業に就く日が来るとは思いもよらないことでした。始めてみると、これがなかなか先輩冥利に尽きる処遇で、昔の遊びや伝承の芸を子どもに教える年寄りの愉しみがあります。

やむを得ず堅い長話をしなければならぬ時は、場の緊張をほぐすために雑談を混ぜるようになりますが、そんな時には、鳥取西高の恩師の取り方や口吻までを思い出してしまいます。最近、小噺で講義のカドを除くために、わざわざ「脱線する」ための伏線「まで張り巡らす」こともあり、功を奏した時は本題に戻す作業が億劫になって困ります。

杉原純(49年卒)

総会報告



参加者一同で校歌斉唱

関東地区鳥城会総会が平成29年10月28日、来賓を含め1000名余りの参加を得てアルカディア市ヶ谷で盛大に開催されました。総会では吉田政雄会長（42年卒）の進行により活動報告・会計報告・次年度予算案が承認されました。宇宙をキャンパスに人工流れ星を夢を描くビジネスの事業化を進めている岡島

礼奈さん（平成9年卒）の講演会は、アカデミアとビジネスが絶妙に絡む臨場感溢れるプレゼンテーションで、参加者は熱心に聞き入り予定時間を超過して質疑応答が続きました。続いて来賓の鳥取西高校山本英樹校長より、校舎の改修と併せ、部室棟の新築グラウンド整備の他、スーパードグロバル



講演する岡島礼奈さん

人工流れ星のプロジェクトに取り組む宇宙民間企業ALEの岡島礼奈社長は、人工衛星を打ち上げて地上60〜80キロの宇宙空間から流れ星の元となる粒を放出し、地上から肉眼で色とりどりの流れ星を楽しむという、世界初の宇宙エンタテインメント事業について動画を交えながら説明してください

人工流れ星放出のタイミングやスピード、角度を決める放出装置は「高い精度が求められ、日本のもの作り技術を集積させている」と述べ、大学時代から大事だと考えていた基礎科学の発展にもつながるビジネスモデルになるとも強調。人工流れ星によって、太陽活動や、大気との

星づくりに世界が注目

ハイスクールとしての母校の活動が紹介され、小谷文夫同窓会会長からは同窓会の体制整備状況が報告されました。最年長出席者寛邦

男氏（30年卒）の乾杯発声で始まった懇親会の後、最後には鳥城会の定番となった神谷昭光氏（35年卒）のエール指揮の下、一同が校歌を唱和して盛会のうちに総会を終えました。澤口公彦（32期代表幹事・56年卒）

反応のデータベース化、天然の流れ星の研究が進む可能性についても言及され、人工流れ星で発生するオゾンで地球のオゾン層復元にも貢献したいとの考えを示されました。

日本の宇宙ベンチャー企業は20社ほどしかないことから政府も人工流れ星計画を後押し。先進技術を軍事目的ではなく娯楽に使うユニークさはメディアの注目を浴び、英BBC

鎌倉幕府の興亡たどる



つわものどもが夢に思いを馳せる

第14回「史跡巡り」は「鎌倉幕府の始まりから終わりまで」をテーマに平成29年9月10日（日）に挙行。天気にも恵まれ、鎌倉駅東口には17人の面々が。まず本覚寺へ。刀匠・正宗が眠る。次いで、長い参道を通って妙本寺へ。比企一族滅亡の地だ。そして、いよいよ、元八幡（由比若宮）へ。源頼義が「前九年の役」の戦勝御札として1063年に石清水八幡宮を勧請。1180年、鎌倉入りを果たした頼朝がまず参拝し

放送などで取り上げられています。11月7日には日本航空などのスポンサーも発表され、2020年にアラブ首長国連邦（UAE）で開催される国際博覧会の担当者も関心を示し

ているとのことでした。19年に広島上空で行われる予定だった最初の宇宙ショーは、人工衛星の機能向上のため20年春に持ち越されました。田辺宏（56年卒）

たのがここ。私が鎌倉幕府発祥の地とする所以だ。鎌倉らしさが漂う道を進み、第8代朝鮮総督・南次郎大将屋敷を横に見て、秘密めいた路地へ。長駈、頼朝の挙兵に加わった三浦大介義明と家来が眠る来迎寺へ。長勝寺で高村光雲作の巨大な日蓮像を拝した後、鎌倉七口の一つ・名越切通へ。かなりの急坂に女性陣から怨嗟の声。安国論寺で小休憩の後、大宝寺の新羅三郎義光の墓を掃苔し、祇園山トンネルを経て、最後の目的地、北条高時腹切りやぐらへ。1333年の鎌倉幕府終焉の地だ。後は一路、小町通りの懇親会場へとただれ込んだ。史跡巡り担当 篠田伸夫（37年卒）

編集後記

わが世代は家政科も含め12クラス。少子化の流れが西高にも押し寄せていることを実感し愕然。

（田辺）

50歳を過ぎて城マニアに。鳥取城址をしつかり見তেおくべきだったと後悔しています。

（山根）